

国語科（文学国語）学習指導案

指導者

- 1 履修単位数 文学国語(3)
2 実施日時 令和 7 年 10 月 22 日(水) 第 6 時限
3 学 級 HR (名)
4 使用教科書 『鼻』芥川龍之介(標準「文学国語」 第一学習社)
5 単元(題材)名

芥川龍之介の『鼻』の制作意図について考えよう。

6 単元設定の理由

(1) 生徒観

生徒は、これまで「調律師のるみ子さん」「デューク」「ナイン」と学習を進める中で、登場人物の心情の変化を読み取ることや物語の展開を想像しながら読むということに力を入れて学習してきた。しかし、物語の内容を自分事として考えることを苦手とし、物語は物語として捉えているように感じる。だからこそ、本教材を通して芥川龍之介が描きたかったのは何なのか、それは現代の私たちには共感できないのかということ深く考えさせたい。

(2) 教材観

本教材は、これまでの三作品の小説学習をふまえながら、より高度な学習を意図して単元設定を行った。芥川龍之介の作品には、人間であれば誰しも必ず持っているであろう「醜い心」の部分が物語全体に散りばめられる形で描かれている。本教材の学習を通して、鼻によって左右される内供の心理の変化を把握させると共に、作品内に描かれる「傍観者の利己主義」について理解させたい。また、それが日常生活のどのような場面で発揮されるのかという部分についても考えを深めさせたい。

(3) 指導観

本教材は、作品内の登場人物の心理の変化を追っていくことを通して、日常生活での自らの体験を振り返ることができるものになっている。日常生活の中で内供と同じような気持ちになったことはないか、また出来事を傍観する周囲の人々になったことはないかなど日々の行動を振り返る機会にしたい。また、本教材を読むことを通して、他の文学作品への興味関心を広げ、読書に親しむ姿勢を養わせたい。

7 単元の目標 [B 読むこと]

(1)言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することができる。

[知識及び技能] (1)ア

(2)文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することができる。

[思考力、判断力、表現力等] B(1)エ

(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

8 本単元における言語活動

作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、芥川龍之介がなぜこの作品を書いたのかということについて自分なりの言葉で短い論考にまとめる活動

(関連：[思考力、判断力、表現力等] B(2)ウ)

9 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解しようとしている。(1)ア)	①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察しようとしている。(B(1)エ)	今までの学習を生かし、粘り強く読み取った内容から、作者の作品制作意図を自分なりに考えることを通して内容理解を深めようとしている。

10 指導と評価の計画 (全 12 時間)

次	学 習 活 動	評価規準・評価方法
第1次 (1 時間)	①昔話「瘤取り爺さん」の話を紹介する。 ②芥川龍之介という作家について、生い立ちや性格を確認する。また、代表作品について紹介するとともに、知っているものを発表する。 ③本文全体を通読する。その後、初読の感想を書く。	
第2次 (2 時間)	①第一、第二段落の内容を読解する。 1 内供の人物像についてまとめる。 2 内供が鼻を持て余した理由を二点、文章に沿ってまとめる。 3 内供の自尊心の内容と性格をまとめる。 ②鼻が内供にとってどのような影響を与えているのかを整理する。 (本時1/2)	[思考・判断・表現] ① ワークシート(記述の確認)
第3次 (2 時間)	①第三段落を整理する。 1 内供が自尊心の毀損を回復するために行ったことを「消極的」「積極的」の二つに分類し整理する。 2 1の行動を踏まえて、内供の心理の変化をまとめる。 ②内供が自尊心の毀損を回復するためには何が必要なのかという部分を自分の言葉でまとめる。	
第4次 (2 時間)	①第四段落を整理する。 1 内供と弟子の関係をまとめる。 2 二人の心境を表す言葉に着目し、それらの言葉から内供と弟子の心境の変化を理解する。 3 鼻の治療の様子を自分の言葉でまとめる。 ②鼻が短くなったことによって、内供こどのような気持ちの変化が起こったのかを自分の言葉でまとめる。	
第5次 (2 時間)	①第五段落を整理する。 1 内供と周囲の人物との関係性を理解する。 2 語り手が「愛すべき内供」と言う理由を理解する。 3 「傍観者の利己主義」について理解する。 4 「一」の役割を理解する。	[思考・判断・表現] ① [知識・技能] ① ワークシート(記述の確認)
第6次 (2 時間)	①第六段落を理解する。 1 風景描写と物語の関係を理解する。 2 内供の人間性と絡めながら、最終的に内供がたどり着いた心理について理解する。	
第7次 (1 時間)	①物語全体について考える。 1 内供のその後のエピソードを自分なりに考える。 2 高僧である内供を、鼻によって人生を翻弄される人物として描いた理由について考える。 3 1、2を通して、芥川龍之介がこの話を執筆した理由を考える。	[思考・判断・表現] ① [主体的に学習に取り組む態度] ワークシート(記述の確認)

11 本時の目標

本文全体を読んで、自分なりに想像して人物画を作成することで、禅智内供にとって鼻がどのような存在であるか理解する。

12 本時の展開(2/12)

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 5分	前時の振り返りをする。	芥川龍之介の生い立ちや代表作品について確認する。		

展開 5分	本時の活動の説明を聞く。	本時の活動内容について説明する。		
15分	活動を行う。 ①本文を読んで、禅智内供の人物画を作成する。 ②本文に線を引く。 ・禅智内供の顔を描く際に参考にしたところを〈赤〉、禅智内供が鼻を苦に病んでいることがわかるところを〈青〉、禅智内供の性格がわかるところを〈黄〉)	①禅智内供の人物画を本文に根拠を求めながら、作成をするように指示をする。手が止まっている生徒には適宜助言をする。また、疑問に思ったことについてはタブレットを用いて調べるように促す。 ②禅智内供に焦点をあてて引くように指示をする。		
10分	ペアになった生徒と意見を交換しながら、引き続き活動を進める。	ペアで話をしながら活動を進めていくように指示をする。活動の中で絵が変わったり、線が増えたりするように助言をする。		
まとめ 10分	完成したものをMetaMoJi ClassRoomに投稿する。また、ワークシートに「こだわったポイント」と「自分ならどう感じるか」という項目を記入する。 次時の説明を聞く。	完成したものをMetaMoJi ClassRoomに投稿するように指示をする。操作方法に不安のある生徒がいれば適宜助言を行う。また、ワークシートを提出できる状態に完成させるように指示をする。 本時のまとめを簡潔に行う。また、次時にどのような内容をするのかを簡潔に説明し、見通しをもたせる。	絵を描くことで、禅智内供にとって鼻がどのような存在なのかの理解につなげているか。	思考判断表現① 【記述の確認】 ワークシート MetaMoJi ClassRoom

13 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	本文を読んで、禅智内供にとって鼻がどのような存在であるかを理解できている。また、鼻が禅智内供にどのような影響を与えたのかを自分事に置き換えて理解している。(A)
	本文を読んで、禅智内供にとって鼻がどのような存在であるかを理解できている。(B)
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導・手立て	本文を読んで、禅智内供にとって鼻がどのような存在であるかを理解できていない。 【具体的な指導・手立て】 本文をよく読むように指示をする。その中でまずは線を引くところから始めるように指示をする。また、ペア活動の中で相手の生徒からヒントを得るように指示をする。